

©Yuko Higuchi

《Circus》2018年



『ふたりのねこ』原画 2014年



THE CIRCUS IS COMING TO MISHIMA!

ヒグチュウコ展 CIRCUS
2019.11.9[土]—12.22[日]

ヒグチュウコの描く目にくぎ付けになった。猫の丸い大きな瞳に、ふと己の体験を思い出した。道端の子猫に(ねえ、ねえ)と、声ではなく心に直接語りかけられたような気がして、ドキリとしたことを。少女のうるんだ瞳。遠くを夢想しているが、その奥で全てを達観しているような、美しく神秘的な眼差し。

姿そのものにも引き寄せられる。猫は人のような手足を持ち、少女は

身体から花が咲き、尻尾が生える。この世に存在しない組み合わせだが、圧巻の画力ゆえに、異種のパーツが見事に共存していて、むしろ「現実にといたら出会ってみたい」と思わせてしまう説得力がある。

ヒグチは黒のごく細いペンを使い、下絵はアタリのみで後は集中して一気に描き上げる。動物の毛なみ、ドレスの柄やドレープなどの細かい部分もその場で考えながら描くという。ヒグチが緻密な線1本1本に

愛情を込めて生み出した、この世ならぬいきものたちは、柔らかい優しさをまとっている。そこに多くの人々を惹きつけてやまない魅力がある。

本展はヒグチュウコ初の大規模な個展として、約20年の画業の中で描かれた500点を超える作品を公開。絵本の原画や書籍の装画、自身のブランドアイテムの原画、古名画へのオマージュ、映画や舞台のためのデザインなど、幅広い活躍を見ることができる。サーカスで



《鉄》2018年

曲芸師やピエロ、猛獣たちが繰り広げる世界は、カラフルで楽しく、夢のように儚くても哀しい、そして妖しくも美しい…そんなイメージにも重なる「ヒグチュウコ展 CIRCUS」が三島で開幕する。

(学芸グループ長 河内えり子)

令

和元年6月の理事会と評議員会において、公益財団法人佐野美術館の理事長に選任された。理由の一つが、当館創立者佐野隆一翁の訾訾に触れていたということであった。

昭和52年4月、病に伏せておられた翁の床の辺に見舞い参上の折に「美術館を頼む」とおっしゃったお言葉が蘇ってきた。そして、私の健康が許す限り、美術館のために力を捧げようと理事長をお受けいたすこととなった。

翁は自然界から人が生み出した「モノ」への関心が強く、紙一枚鉛筆一本無駄に扱わなかった。美術館に寄贈された佐野コレクションも、一点一点翁が手中の愛蔵品であった。それぞれに見どころのある「モノ」であった。



翁の「モノ」への思い、「モノ」との格闘と創造、美術館への翁の思いはこの辺にあったように思える。美術館をあくまで守り、後世へ続けなければならない、と私は思っている。

PHOTO／眞野 敦

新理事長

渡邊妙子

わたなべ たえこ

就任のごあいさつ

新館長

坪井則子

つばい のりこ



このたび佐野美術館の館長を拝命いたしました坪井則子と申します。50余年の歴史をもつ当館のほぼ半分の年月にわたり、主に工芸を専門に展覧会企画をおこなってまいりました。

この間、時代は変化しました。情報があふれるだけでなく、個人個人

が情報発信を日常的におこなうSNS時代に美術館には何が求められているのか、模索が続いています。この広報誌『隆泉』も、創刊当時は開催した展覧会などの報告に終始していましたが、現在は年4回発行の「壁新聞みたいな」体裁で「少しでもこれからのこと」を発信する形になりました。

佐野美術館には、古来人々が大切に伝承してきた美術品が保管、展示されていますが、遠い過去と先にある未来との間で少し先を見ながら歩く、そんな生き方をする人が増え、そのニーズに応える仕事が必要とされているのではないかと思います。

まずは明日、美術館に足を運んでみようか、そう思ってもらえるような場所作りをしていきたいと考えています。

ミュージアムショップ

乙女印刷

活版印刷ぼち袋
各450円(税別)

榛原

はいばらカード 浮彫和紙
各700円(税別)

めてたや

かほりふみの友
(和紙の文香)
各700円(税別)

cohana

右／お箸飾り 利久箸付き
透かし 各1,000円(税別)
左／お箸飾り 祝い箸付き
鉱石 各1,500円(税別)

UTO

カシミア天使の葉 300円(税別)

秋の
オススメ
商品の
ご紹介!

※表示価格はすべて税別です。別途、消費税がかかります。